

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	33	重度化・終末期での対応は当グループホームでは行っておらず入居時や状態に応じて説明を行っているが、現在文章化しての対応が出来ていない	入居時及び必要時に文章での説明を行う	文章の作成	1ヶ月
2	4	運営推進委員会での参加人数が少なく、情報交換や意見の場としての役割が十分に果たされていない	運営推進委員会の参加人数を増やし情報交換や意見の場として活用出来るようになる	隣接するグループホームの運営推進委員会に参加。その場をお借りして当グループホームの委員会への参加の呼びかけをする。	1ヶ月
3	38	利用者の「その人らしい」暮らしを最優先して日々の業務をおこなっているが、まだ十分に取り組みが行えているとは言い難い	利用者のしたい事をくみ取り出来る限り実現させるように努める	入居間もない利用者の思いをくみとり、したい事を把握する。長く入居されている利用者のしたい事も再検討し、個別に実現する。	3ヶ月
4	2	地域密着サービスとしてもう少し地域との繋がりを深める機会を増やしていきたい	おたっしやコーラス倶楽部の活動の範囲を広げる。(敬老会の文化祭等)	敬老会等の会合に呼びかけを行う	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。